

この紙は再生紙を使用しております。

尊敬される豊かな心を持った すばらしい人物に ～卒業式・大学院修了式・学長表彰～



(学部生総代 山内 宏)

「皆さんは人生をあまりなく歩み、尊敬される豊かな心を持ったすばらしい人物になれることを期待する」とはなむけの言葉が贈られました。

本学大学院非常勤講師を務める村田和彦一橋大学院教授からは、「誠実で愚直な歩み」と「よき出会いのための心がまえとして『偶然を必然に!』という2つのお祝いの言葉を頂きました。卒業生を代表し、佐々木宏輔君(経済学科)が「本学で学んだ知識と経験、方法を活用し、社会性と国際性を持った

学業、論文、課外活動優秀表彰

卒業にあたり、4年間の学業成績そして学術論文の6名と課外活動で活躍した7名が学長表彰を受けました。

課外活動優秀表彰には、硬式野球部でドラフト指名を受け「千葉ロッテマリーンズ」に入団した相原勝幸君をはじめ、主将としても活躍した女子ホッケー部の佐藤照美さん、女子ソフトボール部の斎藤美紀さん、男子ホッケー部の佐藤優君、柔道部の大槻裕史君、サッカー部の佐藤義幸君そして学友会の村井健太郎君が選ばれました。

学長表彰者紹介

【学業成績優秀賞】

佐々木 宏 輔
早 川 信 平
尾 崎 広 典
山 内 宏 輔
拜 超

【学術論文優秀賞】

木 幡 潤 一

【課外活動優秀賞】

佐 藤 義 幸 (サッカー部)
斎 藤 美 紀 (ソフトボール部)
相 原 勝 幸 (硬式野球部)
大 槻 裕 史 (柔道部)
佐 藤 照 美 (ホッケー部)
佐 藤 優 (ホッケー部)
村 井 健太郎 (学友会)

平成17年度 富士大学卒業式・大学院修了式



学部卒業生から

経営法学科 4年 山内 宏



「おまえは十年後にはきっと、せめて十年でいいからもどってやり直したいと思っているのだろう。今やり直せよ、未来を。十年後か、二十年後か、五十年後からもどってきたんだよ、今。」

過去をやり直すことはできないが、未来をやり直すことはできるといことで色々と考えさせられた言葉です。試験前など、数日前に戻ってやり直したいと思ったことが何度かあり、就職活動でも、甘くみていてピークから出遅れて後悔することがありました。その教訓から「将来の自分が納得できるよう今やれることをやる」をモットーにして大学生活を過ごしました。結果、自分の納得のいく結果を出すことができました。

入学前は長いと思っていた大学での4年間、こうして卒業を迎え思い返すと本当に短く感じられます。大学生活は自分なりに充実したものでしたが、あの時これをやっておけばという後悔も少なからずありました。皆さんは大学生活を振り返ってみたいとき、悔いが残らないよう動いてみてください。将来きっと、いい結果がついてくるはずです。



卒業生へエールを送る

経済学科長 吉岡 欽也

ご卒業おめでとう。小学校、中学校、高校そして大学と16年間「学校」という、ある面では温室の生活を過ごしてきたが、4月からはいよいよ社会人として未知なる世界へ入っていく。この間にご両親はじめ多くの方々から受けた愛情を忘れないでほしい。

諸君はこれから長きにわたって、企業人、公務員あるいは自営業として、その職業を通じて社会に貢献していく。どのような境遇にあっても、社会との関連を持ち続けていかなければならない。もちろん心身双方においてである。どうか日々の生活を大切に送ってもらいたい。今や人生80年。諸君たちはこれからの時間の方がずっと長い。終生の良き伴侶を得られ健康であるならば、山あり谷ありの人生が待っているが、何も恐れるものはないであろう。

最後に、どんな事柄に対しても、全力で取り組んで欲しい。もし、余力を残して失敗したならば、それは完全敗北である。全力で対処して失敗しても誰もそれを非難しないであろう。仕事に正面から挑戦し、豊かな人生を堂々と生きて欲しいと希望する。

FUJI UNIV. Sports Club

富士大スポーツ

東アジア競技大会(ホッケー) 日本、金メダル獲得! 小沢みさきさん(2年)出場

●北京オリンピックに向かって

本学経営情報学科2年の小沢みさきさんが、昨年の10月29日から11月6日に、中国・マカオで開催された第4回東アジア大会で日本代表チームの優勝に貢献した。

小沢さんは、昨年7月、米国バージニアビーチでの第3回女子チャンピオンズチャレンジカップから日本代表メンバーに加わり、8月の中国遠征、9月の国際親善試合、そして、10月、東アジア大会に出場した。2月には、ニュージーランド、オーストラリア、中国の

3ヶ国遠征でも活躍した。

さらに、今年は4月のW杯予選大会を皮切りに北京オリンピック出場権獲得を目指して来年12月にドーハで行われるアジア競技大会の金メダルに向かって意欲を見せた。



■試合結果

優勝 日本 (金メダル獲得)
2 位 韓国
3 位 中国
4 位 香港

■試合経過

日本 2-1 韓国
日本 3-1 中国
日本 10-0 香港
【決定戦】
日本 3-1 韓国

【感想と抱負】東アジア大会を終えて

今回、東アジア大会で、日本は予選リーグを3勝し、順位決定戦で韓国に勝ち、優勝という結果を残す事が出来ました。東アジアの中、中国と韓国は日本よりも世界ランクが上です。その2チームに勝つての優勝はチームにとって自信になったと思います。私自身もこの大会を通じ、たくさんの経験をし、学び、何より優勝の喜びを感じる事が出来ました。しかし、もっと大

切なのはこの大会で学んだ事や課題として残った事を次の大会でどう生かすかだと思います。

2006年はワールドカップ予選(イタリア)、ワールドカップ(スペイン)、北京五輪への切符をかけたアジア大会(ドーハ)と大切な大会が続きます。私もまずその舞台に立てるように日々の生活や練習を大切にし、目標を持って頑張りたいと思います。

小沢みさき

ホッケー部

■東日本大学対抗戦

3月22日(水)～26日(日)(法政大学グラウンド)
男子 富士大学 4 - 2 明治大学
富士大学 4 - 1 早稲田大学
富士大学 3 - 2 法政大学
優勝

バスケットボール部

■東北学生新人バスケットボール大会

12月23日(金)～25日(日)(東北学院大学東キャンパス体育館)
男子 2回戦 富士大学 134 - 72 福島大学
準々決勝 富士大学 68 - 92 秋田経法大学
女子 準々決勝 富士大学 91 - 50 福島大学
準決勝 富士大学 47 - 79 山形大学

男子ベスト8、女子第3位

水泳同好会

■岩手県冬季選手権水泳競技大会

1月21日(土)～22日(日)(岩手県盛岡市内温水プール)
100m背泳ぎ 小原芽衣子 優勝
200m背泳ぎ 小原芽衣子 第3位

柔道部

■第28回岩手県段別柔道選手権大会

2月5日(日)(岩手県盛岡市体育館)
初段の部 井山 優勝
二段の部 松田裕樹 優勝
戸澤泰斗 準優勝

剣道部

■第31回東北学生剣道新人大会

12月4日(日)(秋田経法大体育館)
男子 1回戦 富士大学 3 - 2 青森大学
準々決勝 富士大学 1 - 5 東北学院大学
ベスト8

スノーボード部

■スパイラルジブセッション

1月21日(土)(岩手県盛岡スノーパーク)
笠口慎也、小野裕輝、加藤圭太、工藤祐志 出場
7年連続 12 回目
優勝

■全日本学生スノーボード選手権大会

2月21日(火)～24日(金)(苗場スキー場)
スロープスタイル 笠口慎也、猪俣智司 予選落ち
スノーボードクロス 猪俣智司 第1ヒート敗退

各クラブ 春季合宿 ～シーズンに向けて～

硬式野球部

●2月25日～3月30日 (A班)
沖縄／関東
●3月26日～4月2日 (B班)
東北

サッカー部

●2月20日～3月5日
関東／東海
●3月9日～3月24日
関東
●3月25日～3月29日
千葉



第20回デンソーカップチャレンジ、北海道・東北学生選抜チームに、白澤実、高橋慎太郎、出口寿が選ばれました

ハンドボール部

●3月26日～31日 (男子)
函館
●3月9日～15日 (女子)
埼玉

陸上競技部

●2月21日～3月8日
群馬／愛知



準硬式野球部

●3月5日～3月16日
静岡／東京
●3月23日～3月26日
関東地区



ソフトボール部

●2月18日～3月17日
三重／滋賀
●3月22日～4月2日
関東／関西



バスケットボール部

●2月20日～24日 (男子)
国立岩手山青年の家
●3月6日～3月10日 (女子)
国立岩手山青年の家



柔道部

●2月19日～25日 (男子)
千葉 (勝浦)
●3月5日～3月12日 (女子)
東北
●3月6日～3月11日
韓国

ホッケー部

●3月6日～9日 (男子)
山梨
●3月15日～19日 (女子)
山梨

剣道部

●2月28日～3月4日
国立岩手山青年の家
●3月12日～16日
国立岩手山青年の家



卓球部

■第58回東京卓球選手権大会岩手県予選会

12月4日(日)(花巻市総合体育館)
男子複 成田圭太、鎌田健組 準優勝
南克幸、稲葉徹組 第3位
男子単 南克幸 優勝
伊藤孝郎 第3位
大木優輔、稲葉徹 第5位
女子単 吉田瑞江 準優勝
佐藤夏奈子 第3位
女子複 土田美幸、佐藤夏奈子組 準優勝
※上記入賞者は本選出場

■北日本卓球大会

1月21日(日)～22日(花巻市総合体育館)
男子 千葉 貴大 ベスト8
大木 優輔 ベスト16
女子 佐藤 夏奈子 ベスト8
吉田 瑞江 ベスト16
男子団体 Aチーム 優勝 3年連続5回目
女子団体 第3位



■第32回中島正二郎杯争奪卓球大会

2月26日(日)(花巻市総合体育館)
男子単 稲葉 徹 第3位
女子単 佐藤 夏奈子 優勝



優勝した佐藤夏奈子(2年)

■第58回東京卓球選手権大会

3月14日(火)～19日(日)(東京体育館、日本武道館)
男子単 1回戦 伊藤孝郎 3-2 田代(遊学館・石川)
大木優輔 0-3 大越(卓修会・千葉)
2回戦 南克幸 3-1 横手(百十四銀行・香川)
伊藤孝郎 0-3 湊(ニッタククラブ・東京)
3回戦 南克幸 1-3 阿部(早稲田大)
女子単 1回戦 吉田瑞江 1-3 白根(MD相模・神奈川)
佐藤夏奈子 0-3 井ノ口(東京富士大・東京)
男子複 1回戦 南克幸、稲葉徹 0-3 胡、岡本(狭山ヶ丘高・埼玉)
成田圭太、鎌田健 1-3 日高、石崎(明治大・東京)
女子複 1回戦 土田美幸、佐藤夏奈子 3-1 江尻、国井(早稲田大・東京)
2回戦 土田美幸、佐藤夏奈子 0-3 越崎・大畑(中国電力・広島)